

近江商人『商売十訓』

- 1、商売は世のため、人のための奉仕にして、利益はその当然の報酬なり
- 2、店の大小よりも場所の良否、場所の良否よりも品の良否
- 3、売る前のお世辞より売った後の奉仕、これこそ永遠の客をつくる
- 4、資金の少なきを憂うなかれ、信用の足らざるを憂うべし
- 5、無理に売るな、客の好むものも売るな、客のためになるもの売れ
- 6、良きものを売るは善なり、良き品を広告して多く売ることはさらに善なり
- 7、紙一枚でも景品はお客を喜ばせる、つけてあげるものがないとき笑顔を景品にせよ
- 8、正札を守れ、値引きはかえって気持ち悪くするくらいが落ちだ
- 9、今日の損益を常に考えよ、今日の損益を明らかにしないでは寝につかぬ習慣にせよ
- 10、商売には好況、不況はない、いずれにしても儲けねばならぬ